第2期三原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (概要版)

# 1. 総合戦略とは

# (1)三原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置づけ

本市では、平成27年度~31年度を計画期間とする第1期の三原市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「第1期三原市総合戦略」という。)を策定し、5つの基本目標に基づく施策や事業に取り組んできました。

しかし、全国的に人口減少は依然として進んでおり、本市の人口においても、まちの将来を担う若い世代の市外・県外への流出が顕著であるなど、人口の減少傾向の抑制には至っていないのが現状です。

国においては、令和元年12月に第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持することをめざしています。

本市においても、第1期の総合戦略期間に行ってきた取組を振り返るとともに、最新の統計資料などにより、改めて本市の人口の分析や推計などを行い、令和2年度を初年度とする今後5年間の目標や施策の方向性等を「第2期三原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下「第2期三原市総合戦略」)として取りまとめることとします。

# (2)第2期三原市総合戦略の対象期間

第2期三原市総合戦略の対象期間は、令和2年度を初年度とし令和6年度を目標年次とする5年間とします。

# 2. 第2期三原市総合戦略に向けての課題

本市の人口減少対策の方向性としては、死亡数の抑制や出生数の増加といった「定住人口の減少傾向を抑制する」とともに、UIJ ターンをはじめとした「移住人口の確保」により、人口の減少傾向を抑制することが必要です。

# 定住人口の減少抑制 ●自然減の抑制 ●社会減の抑制 ●社会減の抑制 ●交流・関係人口を移住人口へ

# ①定住人口の減少抑制

「定住人口の減少抑制」とは、近年増加している自然減を抑制するための対策と現在居住している市民の市外への転出を抑制する社会減対策との組み合わせによって、定住人口の減少傾向の抑制を図るものです。

# 自然減の抑制に向けて対策が必要な事項

- 若い世代が安心して結婚・出産・子育てができる環境づくり
- 結婚・妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援
- 結婚・出産後も希望する働き方やワーク・ライフ・バランスが実現できる環境整備
- 健康寿命を延伸し、生涯にわたって活躍できる仕組みづくり

# 社会減の抑制に向けて対策が必要な事項

- 20~34歳の若い世代が市内で就労する機会の創出
- 20~34歳の女性が求める働く場づくりと就労支援
- 市外に通勤する若い世代の市内居住への支援
- 市への愛着や郷土愛の醸成を促進するまちづくり

# ②移住人口の確保

「移住人口の確保」とは、市外に転出した市出身者の地元回帰(U ターン)を図る取組や、U ターンなどにより、市内に転入する人口を取り込む取組の組み合わせによって、移住を希望する人口の市内への転入により社会減の抑制をめざすもので、ターゲットを絞った効果的な取組が重要と考えられます。

# UIJ ターンの促進に向けて対策が必要な事項

- 市出身者の地元回帰(Uターン)の促進
- 市外からの通勤者や都市圏の移住希望者の転入促進
- 働く場の創出と人手不足対策,市内居住の一体的実施

# 交流・関係人口を拡大し、移住人口へつなげることに向けて対策が必要な事項

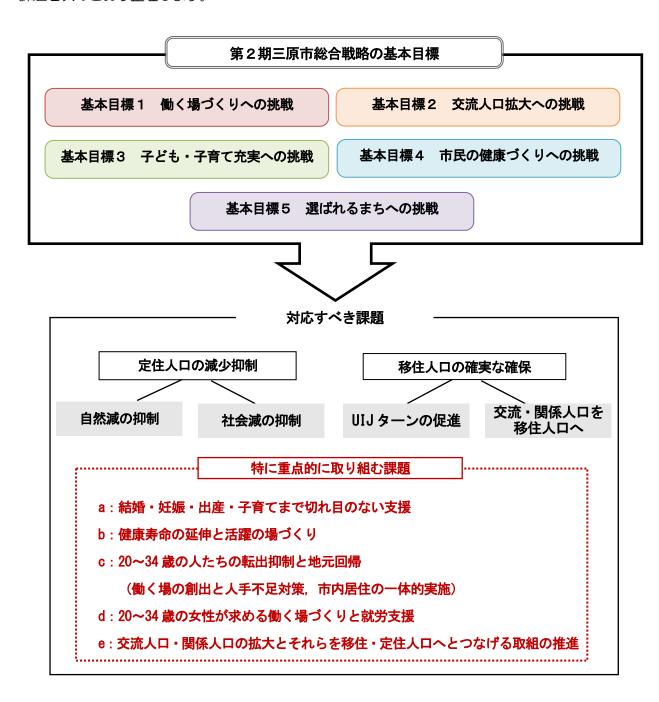
- 交流人口・関係人口の拡大
- 戦略的・効果的な情報発信(シティプロモーション)
- あらゆる施策に移住の視点を盛り込む

# 3. 第2期三原市総合戦略の基本目標と施策体系等

# (1)基本目標

第1期総合戦略と同様に5つの基本目標を定め、人口の減少傾向の抑制に向けた取組を推進していきます。第2期三原市総合戦略においては、UIJターンを中心とする移住対策に特化することとし、基本目標5を「選ばれるまちへの挑戦」に改めることとします。

また,5つの基本目標の中でも,本市の人口減少対策として,特に重点的に取り組む必要がある 課題を次のとおり整理します。



# (2)めざす方向と基本目標の関係

# 本市のめざす方向

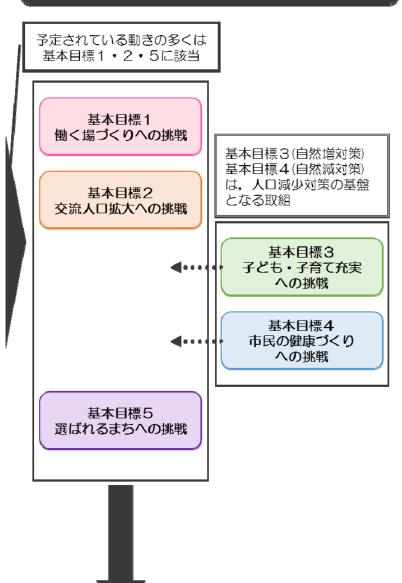
# 情続可能なまちづくり ①可能な限り現在の人口維持 (令和7年に9万人) ②市民満足度の向上 (令和7年に85%以上)

人口10万人への チャレンジ!

# 短期的(2025ごろまで)に予定されている主な動き

		国や国際的な動き	市の動き		
	R2 (2020)	<ul> <li>東京オリンピック・パラリンピック 関催(7~9月)</li> <li>5G商用サービス開始</li> </ul>	<ul> <li>本郷産業団地(1 I区)完成 1</li> <li>広島空港民営化に向けて始助 1 2</li> <li>駅前東館跡地整備事業完了 2</li> <li>プログラミング教育必修化(小学校)</li> <li>児童館, 老人大学の駅前移転 3 4</li> </ul>		
	R3 (2021)	> ワールドマスターズゲームズ2021 関西(5月) 2	<ul><li>&gt; 広島空港完全民営化 2 5</li><li>&gt; 木原道路関通 2</li><li>&gt; プログラミング教育必修化(中学校)</li></ul>		
	R4 (2022)	▶ 文化庁,京都府に本格移転 (~2022年3月)	<ul><li>本郷産業団地内で2社が操業開始予定</li><li>1</li><li>5</li></ul>		
	R5 (2023)	<ul><li>社人研推計総世帯数のピーク (5,419万世帯)</li></ul>			
	R6 (2024)				
	R7 (2025)	<ul> <li>大阪で万国博覧会の開催(5~11月)</li> <li>全大学生(50万人/年規模)が数理・データサイエンス・AIの基礎を警得可能とする教育改革(2025年まで)</li> <li>高速道路での完全自動運転トラックの実現(政府目標・2025年)</li> <li>リニア中央新幹線(品川⇔名古屋)が関業(2027年)</li> </ul>			

# 第2期三原市まち・ひと・しごと 創生総合戦略の基本目標



# ※この5年間は、特に、

- ・働く場の創出と市外(国外)就労者の市内居住促進
- 新しい技術の活用を地域の力にする 取組が重要。

# 上記に対応する取組として、第2期三原市まち・ひと・しごと創生総合戦略に盛り込んでいる事業

No.1 産業団地整備事業	No.30	外国人就労者支援事業	No.110	空き家活用促進事業
No.2 企業誘致促進事業	No.82	情報教育環境整備事業	No.111	ワンストップ窓口体制強化事業
No.3 農業参入企業支援事業	No.102	首都圏・関西圏での移住促進事業	No.112	進出企業の移住定住事業
No.4 産業用地調査・整備事業	No.104	シティプロモーション推進事業	No.115	AI・RPA等のデータ処理技術活用
No.15 サテライトオフィス誘致事業	No.105	お試し暮らし滞在費補助事業		推進事業
No.22 都市圏からの人材呼び戻し事業	No.106	若年・子育て移住世帯家賃補助事業	No.116	地域公共交通利便性向上事業
No.27 就労者通勤支援事業	No.108	ファーストマイホーム応援事業	No.117	ローカル5GとICTによる生活環境 向上モデル事業
No.29 外国人就労者受入機関設置支援事業	No.109	空き家バンク事業		日エピノル事業
				合計22事業

# (3)施策体系

# 基本目標1 働く場づくりへの挑戦

人手不足解消や生産性向上をはじめとし た既存事業者への支援に加え, 新たな企業 の誘致、農水産業の担い手確保や経営安定 化・成長産業化,20代・30代の若年層や 女性、高齢者、外国人等が働きやすい環境 づくりを進めます。



- 数値●市内事業所数
- ■標 ●市内就業者数
  - ●一人当たり課税対象所得額

# 【特徴を出す事項】

- ★強み(気候、水、交通、米粉、大学)を 活かした産業振興
- ★ | 丁等情報通信分野の働く場の開拓
- ★女性、外国人等が活躍できる環境づくり による人材不足対策

# 新たな企業誘致により多くの雇用が創 出されている

- ○市内産業団地への企業誘致 ○強みを活かした企業誘致
- ●新たに誘致した企業により創出さ KPI れた雇用数
  - ●農業参入企業数

# 農業・水産業の担い手が確保され、経 営力が向上している

- ○新規就労者の確保・育成 〇農業・水産業の経営力向上支援
- ●新規就農者数・認定農業者数 ●海面水産物水揚量

# 市内事業者の活動が活発化している

- 〇起業・創業の支援
- 〇人材育成の支援
- ○経済活動の活性化支援
  - ●市内での空き店舗を活用して創業 した延べ人数
  - ●起業・創業延べ件数
  - ●事業を通じて経営支援した人数

# 若い世代,女性,高齢者,障害者,外 国人が働きやすい環境が整っている

〇若い世代,女性,高齢者,障害者,外国 人等の就労支援

- ●就職を理由とした 20 代・30 代の 転出超過数
- ●女性(20代・30代)の就業率
- ●外国人就労者(技能実習者)数

# 基本目標2 交流人口拡大への挑戦

本市固有の資源を活かした観光コンテン ツを基盤として, 広域連携の枠組みなども 活用し、国内外の観光客の誘客・周遊・滞 在につなげるとともに、おもてなし環境の 整備や積極的な情報発信を推進します。

# 目標

した誘客

の徹底活用

●一人当たりの観光消費額

【特徴を出す事項】

★空・道・港の結節点。 交通利便性を活か

★瀬戸内、食、特産物など三原固有の資源

# 基本目標3 子ども・子育て充実への挑戦

男女の出会いから結婚、妊娠、出産、親 子の健康, 生活の支援, 復職, 教育など, 子ども・子育て世代への支援の充実に取り 組みます。

# 目標

KPI

●15~49 歳の女性数に占める 出生数の割合

# 【特徴を出す事項】

- ★子育てをしたくなる安全・安心な環境づ < n
- ★企業と連携した仕事と家庭の両立支援

出会いから結婚、妊娠、出産までのき

●20代・30代の人口に占める婚姻件

●保護者の子育て支援への満足度

魅力的な教育プログラムが行われてお

○教職員の指導力向上及び児童生徒の体

●地域や社会をよくするために何を

すべきか考えている児童生徒の割

り、三原の教育の質が高まっている

〇子どもたちの三原への愛着醸成

●学力定着の状況

め細かな支援体制が充実している

子育ての支援環境が充実している

〇安心して子育てできる環境整備

〇出会いから結婚までの支援

〇妊娠・出産の支援

数の割合

○仕事と家庭の両立支援

**│●待機児童数** 

力向上

合

★県内トップレベルの学力づくり

の意識と行動の変容を促す取組や、県立広 島大学をはじめとした関係機関等との連携 により、健康寿命を延伸させる取組を進め ます。

【特徴を出す事項】

★健康長寿 No.1 をめざした取組の推進

健康づくりに自らが取り組む多くの市民

市民の健康づくりへの挑戦

# 目標

数値●健康寿命

基本目標4

# 基本目標5 選ばれるまちへの挑戦

訴求力がありターゲットを明確にしたシ ティプロモーションにより, UIJターン の増加や,交流人口・関係人口を移住人口 へとつなげる取組の推進を図るなど、移住 者から選ばれるまちづくりを進めます。



●社会動態 (転出・転入) による 人口変動

# 【特徴を出す事項】

- ★ニーズにあわせた移住支援
- ★地域の特性を活かしたライフプランの提供 ★関係人口を移住・定住人口へとつなげる
- 取組の推進 ★スマートシティに向けた取組

りを持つ人)が増えている

○関係人□創出の取組強化

KPI●ふるさと納税額・件数

★訴求力がありターゲットを明確にした シティプロモーション

関係人口(三原の応援者や三原と関わ

●取組を通じて生まれた関係人口

# 健康づくりをはじめるきっかけとなる 機会が充実している

○健康づくり活動への意識変容・行動変容 の促進

# ●特定健診の受診率

KPI ●大腸がん,子宮がん,乳がん検診の 精密検査受診率

# UIJターン者を支援する体制が充実 している

○訴求力のある移住情報の発信 ○移住支援の取組強化

# ●UIJ ターンに関する各種制度の活用

●ワンストップ窓口での移住支援世帯

# 高齢者が社会とのつながりを持ちなが ら生きがいを持って暮らしている

〇健康づくり・介護予防の取組強化 ○認知症予防の取組強化

# 利便性が高く、魅力ある生活を送るこ とができるまちになっている

〇まちの利便性向上に向けた取組の充実 〇移住先として魅力的なまちの取組強化

## ●新たな技術を活用した取組の事業 **KPI** 化.件数

●中心市街地活性化計画における指 標達成率

# 市民が気軽に楽しく健康づくり活動に

# 取り組んでいる

○健康づくり活動の定着に向けた支援

# 市民の割合

●健康づくり活動に取り組んでいる

○高齢者の活躍促進のための取組強化

# ●介護や支援を必要としない高齢者 の割合

# ※数値目標やKPI、個別事業などの詳細については、

# 「三原ならでは」の魅力的なコンテン ツが整っており、市を訪れる人が周 遊・滞在している

○観光メニューの開発 ○芸術・歴史・文化・スポーツなどの活用

による多様な誘客 ●市外からの年間観光客数 ●宿泊客数

まちの魅力を紹介できる市民が増加す るなど,市を訪れる人に「おもてなし」 を行う環境が整っている

○観光推進体制の強化・人材育成

# ●おもてなし人材育成数 KPI ●ツアーガイド人数

# 効果的なプロモーションにより、三原の魅 力や観光情報が発信されている

○戦略的情報発信

●テレビ, 新聞, 雑誌などに観光情報 が取り上げられた回数・広告換算額 ●インターネットのアクセス数

# 三原の魅力的な観光情報が海外に伝わ り、多くの外国人観光客が訪れている

○外国人観光客の受入環境整備

●インバウンド観光客数

# ながる効果的な取組が実施できている

〇広域連携による誘客

●広域連携により実施した交流人口 拡大に関連する取組での誘客数

# 広域での連携により交流人口拡大につ

本編でご確認ください。